

■K.ArtMarket から K.Art Studio へ

K.Art Market は、2009 年に終了する

インディーズアートブームも終わり、活動が煮詰まり、妻と話し合っ
てのこったスペースを、夫婦のスタジオへと K..Art Studio とする

K.ArtMarket は、我々夫婦の社会との窓口、K.Art Studio に

ギャラリーを作って再び呼吸し始める。

一旦仕切り直して、K.Art Studio へと再スタート

ギャラリー業務をしていくうちに、SHOP も再開。

結局、再びギャラリーショップとなる。

ショップも、スキルアップし、レジ、SHOP 用パソコン、ラッピングへと本格的な店へと進化

■東京を介さない展開

インターネット SNS 時代

遠隔地とのつながり

2014 年、京都のアブストラクトダンスユニット「nous」との出会い。

インターネットを使った交流。

「nous」の名古屋公演の際、K.Art Studio でもコラボパフォーマンス開催。

山本氏のサウンドアート ワタリーリオン氏のボディーパフォーマンス

私ライブドローイング。

茨木の caf? ギャラリー「詩穂音」の小峰氏との名古屋、日立同時開催の

二人展。

展覧会名「nannka 展」SNS にて、僕が発した言葉に、小峰氏がインスピレーションを

得て「nannka 展」へ。南下、軟化と響きが面白い。

これら東京を介さない展開。

テレビ時代→東京がトレンドで一方向的に地方へ

インターネット時代→地方と地方・地方と海外と「ローカル・グローバル」な時代へ、